

東日本大震災

～被災者、被災地への支援を！

2011年3月11日(金)14時46分、日本では過去に経験したことのない規模のマグニチュード9.0を記録する大地震が、東北太平洋地帯を襲いました。被災地の皆様の安全をお祈りいたしますと共に、多くの犠牲者の方々のご冥福をお祈り申し上げます。私どもの仲間でも森丹商店(宮城県)社長森忠義ご夫妻が被災に遭われ、残念なことに死亡が確認されました。衷心よりお悔やみを申し上げます。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
 森丹商店
 社長 森 忠義様 幸江様
 宮城県亘理郡山元町

今回の大震災は青森県から千葉県まで広域に渡り大被害をもたらしました。多くの肥料商の方々が事務所、家屋、倉庫などの崩壊、破損の被害を受けました。また、停電、原料・製品倉庫崩壊・破損、工場崩壊・破損、福島原発事故関連で操業停止に追い込まれた肥料メーカーも多数あります。私どもが肥料供給をお願いしているエムシー・ファーターコムいわき・小名浜工場様、太陽肥料様、清和肥料いわき工場様の各工場も被害が大きく、製品出荷の停止を余儀なくされております。被災を受けられました各社には心よりお見舞いを申し上げます。また、春肥を間近に迎え皆様には大変ご不便をお掛けしておりますが、何卒事情ご賢察の上ご理解を賜り度宜しくお願い申し上げます。

三菱商事アグリサービス株式会社
 代表取締役社長 上杉 登

農業への影響と復興への道

1. 農地被災と復興への願い

今回の大地震と巨大津波により東北から関東北部の太平洋側は、約1万haの田畑で汚泥堆積、地盤沈下、塩害、油汚染など被災を受けており、更に、水田の保水機能や畑地の灌漑廃水機能なども喪失しているところも多いと報道されております。これらの地域はコメを始めとして農作物の有数の産地でもあり、一刻も早い土壌調査と共に中長期的な復興計画の発表を行政にお願いしたいところです。

2. 農産物被害と食の安全への願い

福島原発事故は、野菜の大産地であります福島県、茨城県、千葉県を始め関東地区で放射能汚染による野菜の出荷停止、摂取制限の状態に陥っております。また、出荷停止ではない青果物の取引停止という風評被害も散見されております。毎日の正確な情報の提示、安全性の観点からの分析・評価、分かりやすい説明の3つを行政にお願いすると共に、欧米諸国に比べ厳しいと言われている暫定規制値の見直し作業を加速して頂きたいところです。

3. 春肥対応支援と農業ガイドラインの願い

春肥も当用期を迎え、被災を蒙った東日本の肥料メーカー各社は操業再開までの難局を乗り越えるべき日々尽力をされておられます。生産力回復には燃料、肥料原料に加え、種々インフラの整備を必要としております。短期的には在庫品の出荷体制の再整備、代替出荷の可能性追求などが課題となりますが、肥料取締法の弾力的な運用、最低限必要な燃料、肥料原料受入の港湾整備、通常より大幅に上回るコストの負担などに関して、行政の支援を必要としております。福島県では既に作付けを遅らせること、それに伴う賠償などがマスコミで報道されておりますが、同県の米農家は「本当に作付けしてよいのか。作っても売れるのか。」また同県で米穀の取引もしている肥料商は「肥料の販売、施肥

(次ページへ続く)

指導をしてもよいのか。秋にコメが売れるのか。風評被害が心配」と不安の色を隠せないのが実情のようです。土壌調査の早期の実施など、安全性の確認と共に将来の不安に備える明確な指針の発表を求められております。また、大きな被災を受けた農家は、農地は確保出来ても農機具の全損などで作業に入れられない方も多く、肥料等農業資材手当ても含めた緊急融資措置をお願いしたいところです。

4. 減反から増産への願い

今回の被災は海外でも大きく報道され、日本人の冷静な行動と絆の強さに驚きをもって賛辞が贈られておりますが、一方では日本の農産物の輸入規制に加え外国貨物船の日本寄港拒否などの動きも始めております。食料安保の

観点からも多くを学ぶ結果となっております。大震災からの大復興が始まることを切に祈念すると共に、安全をしっかりと担保したコメ、野菜の増産と海外への輸出も可能な競争力を身につける為の大改革を真剣に検討する時期に来たと思うところです。

東北地方太平洋沖地震義援金受付について

全国複合肥料工業会と全国肥料商連合会は、共催にて東北地方太平洋沖地震義援金の受付を行うことになりました。寄せられましたご芳志については、全肥商連の被害の大きかった岩手、宮城、福島 の三県連本部に義援金として謹呈いたしますとともに公的支援機関(日本赤十字社等)を通じて被災された皆様方に義援金をお届けすることと致します。詳細は両協会から近日中にご案内がありますが、皆様のご芳志を心よりお願い申し上げます。

勇気・希望・絆のメッセージ紹介

“Tsunami (津波)” よりも、“Kizuna (絆)” という日本語を世界の共通言語にしたい・・・

渡辺 謙 (ハリウッド映画俳優)

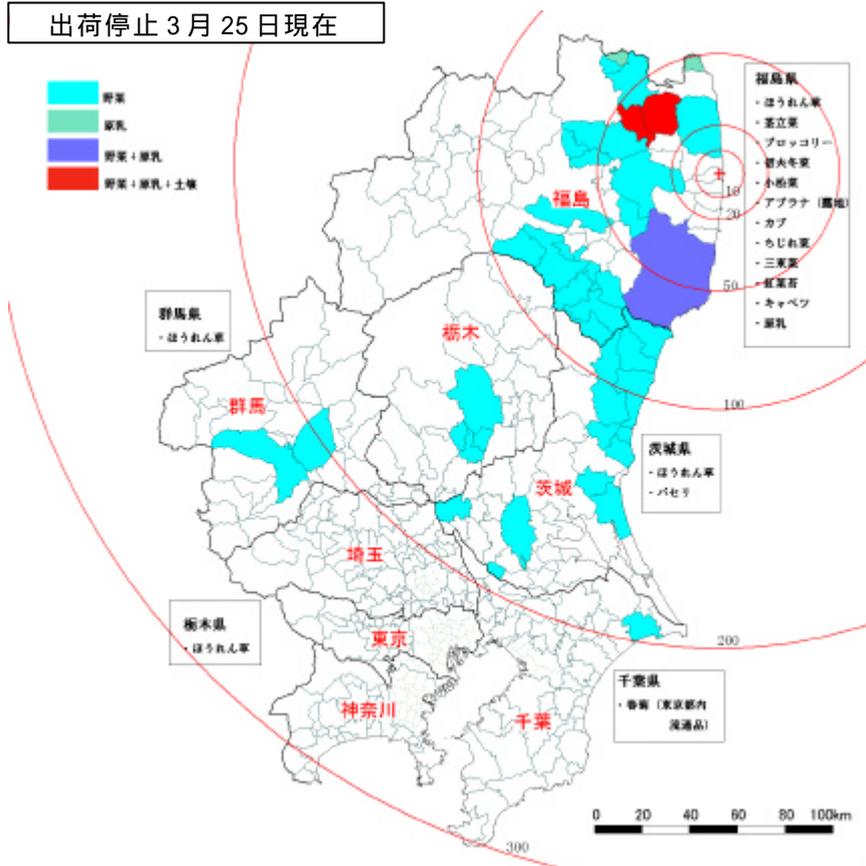
“生かされている命に感謝し、全身全霊で正々堂々プレーをする。私たちに今できること。それはこの大会を精一杯、元気をだして戦うことです。がんばろう、日本！”

創志学園(岡山)野山慎介主将(2年)の甲子園選抜高校野球大会選手宣誓

“私はいま日本にいる。私にできることは歌うこと。歌わないでさっさと帰るなんてできない。～絶対にみすてないよ、いつもそばにいるからね～”

シンデイ・ローパー(ロック歌手 地震当日東京にて公演)

出荷停止 3月25日現在



震災による電力不足により、計画停電が実施されています。色々な節電方法がありますが、家族が同じ部屋で1つのテーブルを囲み、テレビを消して会話をする。今、自分ができる事の一つです。

編集局長：小田原次洋 アシスタント：助川尚子

電話：03-5802-2011/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp